

迷わず病院を受診すべき症状

救急車を呼ぶような緊急性のある症状を知っておきましょう。

ただし、高齢者の場合、「食べられない」「冷や汗をかいている」「元気がない」

「ぼーっとしている。」「反応がにぶい」といったいつもと違う症状は、

一見、症状が軽くても救急対応が必要となる重大な病気のサイン

かもしれないということを心にとめておいてください。

呼吸がおかしい

- 急に呼吸困難になる
- 息が浅く、速い
- ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音〈喘鳴〉がする。
- 意識がない
- 38度以上の熱がある。

●考えられる病気

肺炎、喘息、気管支炎、肺塞栓症
肺水腫、気胸、心筋梗塞、心不全
など

意識がない

- 呼びかけても、つねっても反応しない。
- 呼びかけると、かろうじて目を開けるが、すぐに反応しなくなる。
- すぐにウトウトする。

●考えられる病気

脳卒中、頭部外傷、脳炎、低血糖、高血糖、肝性脳症、尿毒症
アルコール中毒、肺炎など

救急車を呼ぶときは **1 1 9** 番です。